

くくり罠による 小林式誘引捕獲法について

－シカが餌を食べるときに口元周辺に前足を置いていることなどの習性を利用して捕獲する方法－

近畿中国局保全課保護係長の小林正典氏が考案、林野庁でも推奨し、九州森林管理局でも令和3年度より導入

九州森林管理局 保全課

小林式誘引捕獲の開発

誰にでも簡単に効率良く捕獲できる罠を目指して！

これまでのくり罠の問題点

- 設置には経験等による特別な技術が必要
 - 獲物の通り道を探して設置するため、道から遠くなりがち
 - 罠設置後いつ獲物がかかるかわからない
 - 捕獲した獣道での再捕獲は獲物が警戒するので困難
- 餌とくり罠を上手く組み合わせることで解決

小林式誘引捕獲の開発

シカの行動調査

餌の食べ方を観察



小林式誘引捕獲の開発

シカの行動調査（空はじき対策）

河原の足跡を観察

大きな石や障害物をよけて歩く→障害物は踏むのを嫌がる



小林式誘引捕獲の開発



空はじき対策として
わなの周囲に石を置く



ドーナツ状に給餌
わなの設置が完了したら
わなを中心にドーナツ
状に餌を撒いて完成

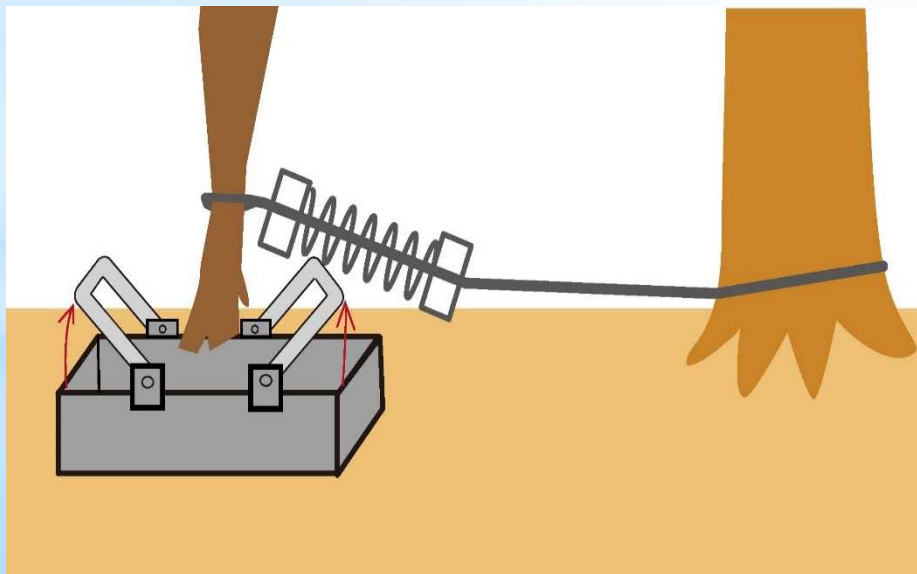
小林式誘引捕獲の完成
(平成28年6月)

くくり罠種類は何でも良いが

押しバネ+ワイヤー跳ね上げ式

(小林式誘引捕獲と相性が良い)

- ・設置が簡単
- ・ワイヤーが跳ね上がるので
捕獲率が良い



捕獲ポイントの設定 → アクセスしやすい場所で

設置場所：広く見通しの良い場所・えさ場がベスト



従来のくりり罠のように設置場所を見極める必要はない



捕獲ポイントの設定 → けもの道や傾斜地でもOK



誘引用の餌には

牧草（チモシー、オーツヘイ、
アルファルファ など）



米ぬか



ヘイキューブ

（アルファルファを固めたもの）

子鹿には粉碎したものを使用

小林式誘引捕獲法のメリット（まとめ）

ここがすごい！

1. わな設置場所

車でアクセスしやすい場所

2. わな設置技術・捕獲効率

特別な技術は不要・捕獲効率は高い

3. 安全性

車から確認しやすい場所に設置でき安全

4. 見回り・止めさし・運搬

車道沿線のため容易